

エーデルワイス通信

1月号

2022年12月31日発行 制作 坂井印刷

自分から始まった人生！
道産子根性を忘れず
地域でねばこく生きよう！



おひらせ



2023
HAPPY NEW YEAR

昨年11月は、多忙な日々となり体調を崩す場面があり、近隣の仲間や、遠方からの励まし、応援メッセージに今まで体験したことのない感動をいただくことができました。

また、医療者の患者を思う姿に、いつも支援を届ける自分は、初めて支援を受ける入院生活となりましたが自分の身の痛さから、「ここで何かを掴まなければもったいない」と今後に向けた新年以降の位置づけを勝ち取ることができました。

目の前の現象には、必ず意味があり自分の仕事への熱量は約3週間の入院生活が必要な出来事だったと自分を振り返りました。「災い転じて福と為す」の精神で、2023年も自分に勝ち取りたいと思います。

本年も職員一同、よろしくお願い申し上げます。

認知症対応型デイサービス 華蓮（かれん）

今までのデイサービスセンター華蓮から、認知症対応型デイサービス華蓮と変更になり活動中です。住み慣れた地域で最後まで暮らし続ける支援をお届けさせていただきます。

- ①認知症になっても自分は機能訓練を主として実施したい。（3時間から昼食を食べて戻りたい）
- ②少人数の対応の場所で自分は過ごしたい。好きな音楽を個室で聞きたい。（ヘッドホン利用）
- ③麻雀をして力を維持したい。（メンバーを募っております。）
- ④認知症の進行を阻止したい（回想法・脳活性パズル数名が良い等）
- ⑤季節を体で感じる支援希望（春～冬の外出支援バス脳活性ツアー冬は市内イルミネーション他）
- ⑥在宅介護者支援（朝・昼・夜の食事支援、当日の洗濯物預かり洗濯支援、パジャマ通所着替え支援）



ものわすれ専門デイサービス エーデルワイスⅢ号館



12月は、巧緻動作訓練や回想法を交えたお手玉、おはじきなど使い、会話が盛り上がるレクリエーションを行いました。男性は、脳活性パズルのシリーズに取り組み「私はお好み焼きを焼いてあげますよ」とテーブルで主導して焼いていただきました。皆さんから「おいしいねー」と称賛をいただき満足げな笑顔でお帰りになりました。

また、お隣の部屋では機器による機能訓練を活用され、冬場の体を鍛えており、写真を持参し家に持ち帰る方もおりました。ご希望の皆様には、写真をお渡ししていますので遠慮なく申し出てください。

来年も、元気に皆様とお会いできるよう2日からお待ち申しております。家族様のご都合などでの急なご利用も賜っております。お気軽にどうぞ！

ものわすれ専門デイサービス エーデルワイス五号館

今月は作品作りでクリスマスリースを皆様に作って頂きました！折り紙を丁寧に折ってサンタやトナカイはお好きな色を選んで頂きました。作品作りを通し季節を感じて、昔の思い出を語りながら笑顔で取り組んで頂けたかと思います。他にはクレープやクッキー作りも行い、美味しく食べられています。

また、寒さで身体がうまく動かない為、朝の会でしっかり体操してから安心して過ごして頂いております。12月は、お正月に向けて貼り絵の作成中ですが、新年は、皆様との1年の幕開けを祝い新年会から始め、希望をもって脳活性意欲に取り組む予定です。



グループホーム エーデルワイス

グループホームの12月の暮らしでは、新築の住居にも随分と慣れ、朝の活性の時間後は個別役割のタオルたたみ、洗濯物たたみ、テーブルを拭く方等、体を動かしたいと希望される方や、残存機能を維持するためにテーブル拭きの動作を行い、その後に依頼するなどケアプランに沿った対応を実施させていただきました。また、毎日、日誌を施設長へ送信し随時指導をいただき、管理者である自分から直接指導を行っております。また、グループホームの管理者としては、経験が足りませんが職員と共に一生懸命頑張りたいと思います。新しい年を迎える為の年越し用の昆布巻きも始まったところです。体で覚えている動作を思い出していただき、懐かしい元気だった頃の自分も居たことを回想していただきたいと思います。

訪問介護事業所 エーデルワイス

今年も、訪問時には共にできることを行えるよう、言葉かけの工夫や、やる気を引き出す支援を行ってきました。しかし、上手く行くことばかりでもなく後から反省することもありましたが、そのような体験の繰り返しから、ご利用者との気持ちの交流も深まりつつあるように思います。

訪問の空いた時間には、皆様と折り紙からのクリスマスリース、シンフォニー内買い物支援などの働きが、ご利用者との気持ちの交流を深めたように思います。

来年も、家族様に代わり受診時には大事な要点を聞き洩らすことなく引き継いで行きたいと思います。

来年もよろしくお願い申し上げます。



サービス付き高齢者向け住宅 エーデルワイスシンフォニー

シンフォニーは、広い空間で認知症の進行から事故の危険を感じた皆様には、環境の適した有料老人ホームへの移動もあり多忙な日々でしたが、新しいご利用者様も入りになりシンフォニーの暮らしに慣れつつあります。皆様が、楽しみの食事、毎日の食事量の確認から体調面の気づきもあり食と健康の大切さについて、気づきをいただいております。昨年の年越しでは、個別重箱のご用意に皆様大変喜ばれておりましたが今年は、量を加減しながら適した料理を検討中です。乞うご期待です！

来年も食と健康を大事に、毎日のバイタル測定や食欲がない時の希望の食事をご用意させていただけるよう職員一同、ご支援させていただきます。新年もよろしくお願い申し上げます。



有料老人ホーム エーデルワイス

有料老人ホームエーデルワイスでは、皆様初めての対面の方も多い状況でしたが、仲良くホームの生活に慣れつつあります。在宅サービスは、すべて利用できる施設で、デイサービスへも行かれておりますが、お休みの方の支援もご支援中です。ことわざクイズの問題、脳活性パズル、音読・読み聞かせ、朝の体操に参加されております。

本の読み聞かせでは、ご利用者様が「私上手に読めないよ。」と緊張されながらも行っていただき、皆様からは「次どうなったの？」と相槌が入るほど熱心に聞かれておりました。また、別な方は「ちょちょりこ〜シャンシャン♪」と自身の好きな音楽で踊りを披露し皆様と大盛り上がりでした。有料老人ホームエーデルワイスは、住宅型であります認知症の人の専門ホームとしてご支援をさせていただきます。遠方からの申し込みも受付中です。外窓からの、モデルルーム見学も開催中です。どうぞ、お気軽にお電話をお待ちしております。



編集後記

介護現場は、何度も何度も誰かが正しいことを言い続ける必要がありますね。今こそ、管理者は好まれるのではなく、嫌われて当然なのかもしれません。ストレス発散する場が大事です。コロナウイルスも、オホーツク管内は猛威を振るい、まだまだ油断できない状況下ではありますが、この環境においてもご利用者共々、楽しむことを忘れず笑顔の多い暮らしを求めて行きたいと思います。



きたほっと食堂

2022年は、途中から「コロナに負けないぞ！」という意味も込め、定期開催を実現することができました。作り手の楽しさと、買い手の持ち帰り弁当を受ける楽しさから、元気に顔を合わせる大切さを感じた1年でした。

